

## 庭園間交流連携促進計画（探訪部門）

# 花と暮らす恵庭の花めぐり

花が紡ぐ人々との出会い。恵庭ガーデンライフスタイル。



令和3年12月

恵庭ガーデンツーリズム協議会



## 目次

様式 1-1 表紙

様式 1-2 取り組みの将来像（ビジョン）

様式 1-3 位置図

様式 1-4 計画のテーマ

様式 1-5 構成庭園一覧表

- ① 花の拠点～はなふる
- ② 恵み野商店会（ガーデンギャラリー）  
花さんぽストリート・  
やすらぎストリート
- ③ 恵み野中央公園  
アナベルロード
- ④ まちなかガーデン
- ⑤ えこりん村～銀河庭園
- ⑥ （株）サンガーデン  
ナーサリーの庭

様式 1-6 拠点機能（探訪部門）

様式 1-7 その他計画の実施にあたって  
必要な書類

様式 1-8 実施する事業と実施体制

様式 1-9 具体的な事業一覧表

様式 2 庭園間交流連携促進計画の  
登録申請について

取組のビジョン **美しいまちで暮らそう**

## 【歴史といま】

花のまちづくりの歴史は、今から約 60 年前、恵庭がまだ農村地帯であった頃に地元の有志が立ちあげた花いっぱい文化協会の運動や、地元高校の花卉園芸栽培等を土台に花苗の生産が発展する中、恵み野開発事業(1970 年～)で住宅団地が造成され、新興住宅地に人々が集い新しい生活を始めたことからはじまります。

美しいまちで暮らし、子供たちの故郷をつかっていこうという人々の想いが、花のまちづくりにつながっていきました。自ら花の手入れをし、彩りを楽しむ暮らし方の中で、植物を通じた人々の出会いがあり、自発的な地域コミュニティが交流しあい、まちの個性がつけられ日々磨かれていく。そのような花のまちづくりの輪が、オープンガーデンの地となり、市民の庭先や、公園や、道や、川べりに、花が咲き誇る美しいまちをつくっています。

→参考資料 1

## 【未来への想い】

恵庭の花のまちづくり、花とともに暮らすライフスタイルを、ここを訪れた方々に体感していただき、花を楽しんでいただくこと、日本各地で花のまちづくりに取り組む方々と出会い、ともに情報を発信しあい、魅力的な日本の花のまちづくりが全国でさらに進展することにつながればと思います。

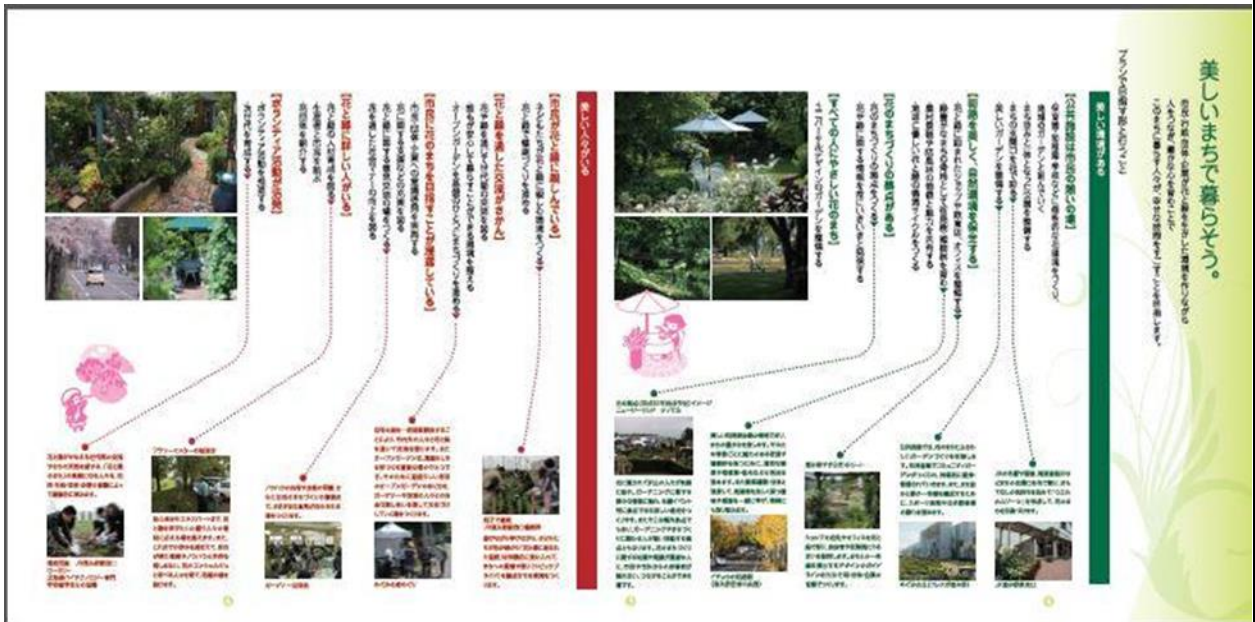
そして、花いっぱいの美しいまちで育ちゆく子供たちに、誇れる故郷を作ることが、私たちの願いです。

**まち全体に花があふれ、庭先に、道に、公園に、そして空き地にも、花が咲く。まちをあるけば、その先々に花に迎えられ、花が人々との出会いを紡ぐ。そんな探訪型の花めぐりを目指します。**

**えにわ花のまちづくりプラン（～2027） 恵庭花のまちづくり推進会議 恵庭市**

- ・ 花のまちづくりを実践してきた市民の想いを込めて、市民と行政がともに花のまちづくりを目指す行動の指針とするものとして策定されました。
- ・ 10 年ごとに、市民アンケートをもとに、花のまちづくり推進会議と市が共同で改定しています。





## 美しいまちはどんなまちでしょう

「美しいまちは、限られた専門家が一方的に提案する大きな計画がもたらすものではありません。それは、自発的な地域コミュニティが相互に影響しあうことで、暮らしの足元から生まれていきます。市民・行政・団体・企業が花と緑にあふれた美しい環境のあり方を議論し、協働で育むことで、人々がつながりあい触発しあう、次代に引き渡すに値する個性的なまちがつくられていきます。**花のまちづくりを通して、まちの個性が持続的に磨かれ、それぞれのコミュニティに強しなやかな命が通います。**そこで人々は、世代を引き継ぎながら末長く心豊かに暮らすことができます。」



「恵庭を花と緑いっぱいのまちにしよう。子どもたちのためにも、このまちをいつまでも愛着と誇りの持てるまちにしたい。そんな思いを出発点に1980年代からはじまった私たちの取り組みは、1998年3月、最初の「花のまちづくりプラン」の策定に実を結びました。2008年の改定を経て、プランはいま、さらに新たなステージに上ろうとしています。」

ガーデンづくりは、私たちにたくさんの気づきと学びをもたらしました。植物たちのおかげで恵庭の気候風土に敏感になり、花を通して、家族のあいだやご近所との関わりが深まりました。

そして新しい出会いが生まれ、ひとつの出会いにはさらにまた、国内外から新しい出会いをもたらしました。花に惹かれて市外からも多くの人々が訪れ、地域経済の新たな種となりました。そしてそうした日々は私たちを、まちの成り立ちについてあらためて考えることにまで導いてくれました。毎日大切に手をかけるガーデンへの思いが、地域へ、通りへ、さらにはまち全体にも広がりはじめたのです。

花と緑によって、まちはさまざまな知恵や手法を身につけながら美しさを増していきました。しかしその取り組みがもたらしたのは、うわべの美しさの前に、さまざまな人が地域やまちに対して、自分の意志でより深く関わろうとする意識だったのかもしれませんが。美しさは、ものごとの外側を飾って生まれるものではありません。美しさは、心のありようと結びついています。多くの人々が「住んで良かった」という気持ちを持っているまち。それが「美しいまち」なのだと思います。」

## 花のまちづくりの近未来

「まちには、花と緑にあふれた公共施設やショップや歩道があります。

人々は季節を追ってガーデンを味わいながら、買い物やおしゃべりの時間をゆったりと楽しみます。まち並みと一体となった公園の緑陰では、幅広い世代が思い思いにくつろいでいます。

そして「花のまち」は、なにより歩くことが楽しいまち。

ここには、規模や効率を求めるばかりのまちとはちがう時間が流れて、行き交う人々の笑顔がすてきです。多くの人々が移り住みたいと願うまち。それが近未来の恵庭です。」

## 2022 全国都市緑化北海道フェア 開催を契機として



・2022年6月、恵庭では、全国都市緑化北海道フェアのメイン会場となります。新しく整備された花の拠点「はなふる」を中心に、恵庭市内の”花のまちづくりの魅力や市民の日々の活動”を巡り、楽しみ実感できる会場構成となっています。

・都市緑化フェアを契機に、市民によるボランティア組織「緑化フェアサポーターズクラブ」が立ち上がり、一層花のまちづくりを楽しみ、日々の除草や花の管理、植込みなどの作業、フェアを契機とした情報発信やサービス提供のあり方などを、結集して考え、実行しています。

・花と暮らすまちづくり、恵庭の花めぐりは、都市緑化フェアの機会において、またそのレガシーとしても、よりまちの暮らしを楽しみ発信する仕組みとして、多くの市民の原動力となっていくことでしょう。

## 恵庭市の緑化への取り組み

1961年に地元の有志によって設立された「花いっぱい文化協会」がきっかけとなって住民主導による取り組みが始まり、現在では、街の大通りや商店街、駅などの公共施設、個人の庭に至るまでが花で飾られ、市民、生産者、専門家、行政が一体となって花と緑の美しいまちを作り上げています。



JR 恵み野駅から、恵み野商店街等を散策しながら「はなふる」会場に徒歩で向かう。商店街のガーデンテーブル、ポケットパークや商店・個人宅の庭等を楽しめるルートを設定する。「花さんぽストリート祭」や「ガーデンツアー」などの活動を継承するとともに、フェアを契機に、市民参加による公共空間の緑化、個人の庭園づくりなどの活動を活発化させる。恵み野駅から「はなふる」会場までの誘導として地元の小中学生が作成したコンテナに花を植栽



### ▽ 緑化フェアサポーターズクラブ

フェアを契機にまちの魅力向上について議論



### △ 恵み野商店会 まちなかの統一コンテナ案

参考資料 1

2020年	2020年	2010年	2000年	1990年	1980年	1970年		
2020 市制施行50周年 花の拠点「はなふる」完成 第40回緑の都市賞「内閣総理大臣賞」受賞	2018 トピック⑤ * 花の拠点実施設計 * 花のまちづくりプラン再直し 改訂「美しいまちづくり5そう」 * 図書館 * コミュニティセンター * 花博アーナー制度開始	2016 2017 2018 2019 2020 * 図書館 * コミュニティセンター * 花博アーナー制度開始 * 黄金ふれあいセンター * コミュニティセンタースタート * 花のまちづくりプラン見直し 改訂「美しいまちづくり5そう」 * 花の拠点実施設計 * 花のまちづくりプラン再直し 改訂「美しいまちづくり5そう」 * 図書館 * コミュニティセンター * 花博アーナー制度開始	2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050	1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050	1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050	1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050	1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050	1970 1971 1972 1973 1974 1975 1976 1977 1978 1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 2033 2034 2035 2036 2037 2038 2039 2040 2041 2042 2043 2044 2045 2046 2047 2048 2049 2050

恵み野花のまちづくり、花いっぱい文化協会 生産者・商店街

国際花と緑の博覧会開催  
さっぽろ花と緑の博覧会開催  
BUSES ビズ創刊  
JHBS発足  
オープンガーデナークラブ北海道創刊  
GIH発足  
トピック⑥  
トピック⑦  
トピック⑧  
トピック⑨

東庭市 商工会議所・企業  
JR恵み野駅誕生  
恵み野東口ヒートモーヨーカ堂オープン  
4月ニュータウンの名称を「恵み野」に決定  
東庭市住宅団地基本計画決定  
(株)恵庭新都市開発公社設立  
東庭市から恵庭市となる  
恵庭市制施行20周年  
記念事業「花とくらし展」開催  
はまなす団体開催  
花苗生産組合 花装飾  
小畑園芸センター準備  
サッポロビール工場  
日本花の会 花のまちづくり最優秀賞  
農林水産大臣賞受賞  
日本花の会 花のまちづくり最優秀賞  
農林水産大臣賞受賞  
恵み野花愛好会 日本花の会 花のまちづくり最優秀賞  
建設大臣賞受賞  
商店会女性部ラベンダークラブ設立  
美しい花のまちづくり推進協議会(恵み野花協) 準備会:市へ要望書提出:窓口一本化  
花の図書館整備要望  
恵み野花のまちづくり最優秀賞(団体部門)  
建設大臣賞受賞  
商店会女性部ラベンダークラブ設立  
美しい花のまちづくり推進協議会(恵み野花協) 準備会:市へ要望書提出:窓口一本化  
花の図書館整備要望  
恵み野花のまちづくり最優秀賞(企業部門)  
ミセスに160掲載 全国から取材・視察多数  
ガーデニング講座(図書館)26回開催  
恵み野で第1回国際花サミット開催  
花の千人植え 花ロード構込み  
ふれあい博覧会実施  
花カフェキャロットオープン  
花ステーションの役割  
空地に花壇を作る  
美しい花のまちづくり推進協議会(恵み野花協)スタート  
現在14団体  
恵み野花企画(元花づくり愛好会事務局)設立  
花いっぱい文化協会設立  
花苗生産組合の開始  
花いっぱい文化協会  
花壇コンクールが始まる  
藤井智夫・石田 貴氏花装飾開始

恵み野花のまちづくり、花いっぱい文化協会 生産者・商店街  
恵み野花のまちづくり最優秀賞(団体部門)  
建設大臣賞受賞  
商店会女性部ラベンダークラブ設立  
美しい花のまちづくり推進協議会(恵み野花協) 準備会:市へ要望書提出:窓口一本化  
花の図書館整備要望  
恵み野花のまちづくり最優秀賞(企業部門)  
ミセスに160掲載 全国から取材・視察多数  
ガーデニング講座(図書館)26回開催  
恵み野で第1回国際花サミット開催  
花の千人植え 花ロード構込み  
ふれあい博覧会実施  
花カフェキャロットオープン  
花ステーションの役割  
空地に花壇を作る  
美しい花のまちづくり推進協議会(恵み野花協)スタート  
現在14団体  
恵み野花企画(元花づくり愛好会事務局)設立  
花いっぱい文化協会設立  
花苗生産組合の開始  
花いっぱい文化協会  
花壇コンクールが始まる  
藤井智夫・石田 貴氏花装飾開始

年・月	恵み野花づくり受賞の数々2015年まで
1995/11/16	花のまちづくりコンクール(団体の部) 建設大臣賞(恵み野花づくり愛好会)
1996/11	北海道花と緑のまちづくり賞 北海道知事認定証受賞(恵み野西商店会)
2000/11	NHKBS私のガーデニングコンクール金賞受賞(恵み野地区)
2001/11	ふるさとづくり賞主催者賞受賞 主催ー(財)あしたの日本を創る協会 恵み野花の街づくり団体連合会 ー構成団体(美しい恵み野花の街づくり推進協議会・ 恵み野フラワーガーデンコンテスト実行委員会・恵み野小中学校)
2004/5	平成16年度版国民生活白書に掲載される。 花いっぱい美しいまちづくり(花づくり愛好会など)
2004/7/22	恵み野フラワーガーデンコンテストにニュージーランド・クライストチャーチ市美化 協会会長ご夫妻(カレン・ブリックス、プライアン・ブリックス)が参加され、賞状とプレート を戴く。
2004/11	都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」受賞ー国土交通省主催 受賞団 体ー 恵庭市、恵み野花の街づくり団体連合会 ー構成団体(美しい恵み野花の街づく り推進協議会・恵み野フラワーガーデンコンテスト実行委員会・恵み野小中学校)
2015/10	恵み野商店会 都市緑化機構第26回「緑の環境デザイン賞ー国土交通大臣賞受賞 (副賞800万円獲得)

## ■恵み野の花の街づくり 30年の歴史 1990年～

恵庭は元々花苗生産が盛ん。花いっぱい文化協会の運動で学校花壇活動が盛ん。

1990年 恵庭花とくらし展開催(恵庭リサーチビジネスパーク)

1990年 クライストチャーチへ市民、花苗生産者、市職員有志の計13人が視察。

1990年 花づくり愛好会設立

研修会や花マップの作成により、技術の向上やまちのPRを行う(1995年に組織化)

1991年 恵み野フラワーガーデンコンテスト実行委員会設立

恵み野4500件の庭を花探検団が巡回審査。その年の素敵なガーデンを選ぶ。

1995年 ラベンダークラブ設立

商店会女性たちが花の通りの花壇研究を行う。

1996年 美しい恵み野花のまちづくり推進協議会スタート

機関誌(花便り)の発行、花基金の募集、環境ボランティアや講演会を開催

恵み野花企画(元花づくり愛好会事業部)設立、現在は各花部会が通りに

商店街通りの花の取まとめ、管理等の実務機関

2012年現在は4町内会・商店会・愛好会・小中学校・駅・専門学校

1999年 「花の千人植え」による「花のロード」、「ふれあい除草デー」を実施。

2001年 花カフェきゃろっとー花ステーション

花見学者の花ステーション(ボランティアが庭の巡回方を教える)

2003年 花を愛する会(池永さん)空き地に花を植え管理をする。2008年～恵庭道の駅花ロード元こわに移動

2006年 恵庭道の駅(花ロード恵庭)オープン・花ステーション的な働きとなる

2014年～15年・恵み野商店街バリアフリー工事(やすらぎストリート、花さんぽ)駐車帯(花さんぽ)



## 取組全体の範囲がわかる位置図（地図等）

（恵庭市位置図・概要）

### 人 口

70,092人(令和2年9月末現在)

### 面 積

294.65km<sup>2</sup>

(国有林45%・演習場23%)

### 交 通

JR快速で、

札幌駅まで24分

新千歳空港まで13分

### 教育機関

大学2・専門学校3

(約4,600人)

高校2・中学校5・小学校8

(約7,800人)



## ■ 構成庭園の位置図

■ウォーキングで、自転車、タクシーで巡る探訪ガーデンツアーリズム



計画のテーマ

## 花を愛する人と人が出会うまちの探訪 “恵庭花めぐり”

花でまちを彩り、花で人々がつながる恵庭のガーデンライフスタイルのご案内。  
花のまち探訪のガーデンツーリズムを通じて、各地で花のまちづくりに取り組む人たち  
と出会い、ともに情報を発信しあい、魅力的なまちが全国でさらに進展することを  
目指します。

庭という、花のある新鮮な舞台を得て、人と人が交流し、植物を愛する輪を広げる。

そして、未来へ育ちゆく子どもたちに、花いっぱい美しいまちを、故郷を手渡したい。  
それが私たちの願いです。

花の交流が生まれる



花の街でイベント開催



構成庭園一覧表

<p>ふりがな 構成庭園の名称 (※1)</p>	<p>はなきよてん 花の拠点  (はなふる)</p>	<p>構成庭園の所在地</p>	<p>北海道恵庭市南島松</p>
<p>1 構成庭園の概要 (※2)</p>	<p>【開園面積】約10ha          【入園料金】無料          【公開時期】年中開園          【施設管理者】恵庭市          【その他】</p> <p>2020年11月に開園した都市公園。都市緑化フェアのメイン会場。          地元産品を提供する飲食施設を備えた「道と川の駅」を備え、RVパークも整備。          2022年春には、隣接地に宿泊施設がオープン予定。          英国チェルシーフラワーショーで日本人初のゴールドメダルに輝いたガーデンデザイナーなど、北海道の新進気鋭の若手造園設計者やガーデナーが、技術を集結し、7つの庭園を設計・整備・管理まで携わっており、細部まで目配りされ、みどころや花の解説にも工夫が凝らされた美しい庭園群が四季折々に人々の目を楽しませる。</p>  <p>【改修】花の拠点センターハウス          観光案内機能、花を中心とした展示・研修機能、子どもの遊び場機能、RVパーク利用者向けサービス機能を導入          令和2年11月 オープン</p> <p>【新築】農産物園売所          以前の農産物園売所の販売スペースの約1.5倍を確保          令和2年4月4日オープン</p> <p>【改修】道と川の駅「花ロードえにわ」          レストラン・お土産のショップなど          令和2年3月12日オープン</p> <p>【新築】花の拠点(はなふる)魅力向上施設          飲食店(スターバックス・おむすび家びす)          令和3年12月 オープン(予定)</p> <p>【新築】宿泊施設          ホテルを称 フェアフィールド・バイ・マリオット北海道えにわ          令和4年春 グランドオープン</p> <p>【整備】RVパーク          ●キャンピングカーなどによる車中泊による利用を想定した          ●駐車場を整備(駐車台数 19台)          ●駐車場に車庫設備を併設するとともに、花の拠点センターハウス内にRVパーク利用者向けの談話室等を整備          令和2年11月 オープン</p>		
			

## 北海道のガーデンデザイナー&ガーデナー達



上野ファームー上野砂由紀さん  
サンガーデン上谷美紀さん



チェルシーゴールドメダルの2人  
佐藤未季さん、一統



十勝千年の森  
新谷さん、笹川さん



イコロの森チーム



植え込み風景

計画  
のテ  
ーマ  
での  
位置  
づけ  
(※  
3)

恵庭花めぐりの拠点施設となる都市公園。市内の花関連の情報発信機能や子どもの遊び場等を有した屋内施設が整備されており、トイレ、休憩機能も完備。

さらに、隣接する道と川の駅は、地元産品を販売するショップ、地産地消型のレストランを併設、農畜産物直売所では地元の新鮮野菜や花卉を販売。

2021年12月にはスターバックスがオープンする。

また、隣接して宿泊施設（フェアフィールド・バイ・マリオット北海道えにわ）が、都市緑化フェアには利用できるよう2022年春にグランドオープン予定。

	ふりがな 構成庭園の名称 (※1)	【ガーデンギャラリー】 やすらぎストリート 花さんぽ	構成庭園の所在地	北海道恵庭市恵み野地区
--	-------------------------	----------------------------------	----------	-------------

【開園面積】約700m  
【入園料金】無料  
【公開時期】年中開園（見ごろは6月～9月末）  
【施設管理者】恵み野商店会、恵庭市（道路管理者）  
【その他】

●ガーデンギャラリーについて

恵み野の商店街は、「ふれあいストリート」「やすらぎストリート」「花さんぽ」の3つの通りからなる。恵み野のメインストリートで、植樹帯の他に大きな植え込みますも併用したガーデンになっている。2015年恵庭市のバリアフリー工事と「花さんぽ」に駐車帯及びガーデンを整備するにあたり、36か所ある大きな植栽スペースを「ガーデンギャラリー（花さんぽストリートとやすらぎストリートの赤枠部分）」と名付けて市民に愛される「緑と花のあるガーデン」に生まれ変わった。

●ガーデンの公開性・永続性

「ふれあいストリート」は恵み野駅の線路に平行になる植樹帯があり、「やすらぎストリート」と「花さんぽ」はJR 恵み野駅前通りから直進した恵庭市が管理する道路敷地 にあり、バリアフリー歩道（幅員 3m）に沿って設置されているため、高い公開性と安全性・永続性が確保 されます。

2

構成庭園の概要  
(※2)

＜恵み野商店街及び実施区域＞





恵み野駅



ふれあいストリート



やすらぎストリート



花さんぼ

計画の  
テーマ  
での位  
置づけ  
(※3)

市民のつくる花と緑を連続してみられる代表的なエリア。  
恵み野駅に降り立ってすぐ、歩きながらゆったりめぐれる連続した花と緑で、「やすらぎ  
ストリート」「花さんぼストリート」として市民に愛されている通りです。  
商店街のガーデンで、ガーデンを見ながらの散策や、お食事やカフェでのコーヒータイ  
ム、ショッピングのまち歩きを楽しむことができます。

ふりがな <b>構成庭園の名称</b> (※1)	めぐみのちゅうおうこうえんえん <b>恵み野中央公園</b> あなべろーど <b>アナベルロード</b>	<b>構成庭園の所在地</b>	北海道恵庭市恵み野地区
3 <b>構成庭園の概要</b> (※2)	<p> <b>【開園面積】</b> 約 600m  <b>【入園料金】</b> 無料  <b>【公開時期】</b> 6月～9月末  <b>【施設管理者】</b> 恵み野花協、恵庭市（道路管理者）  <b>【その他】</b> </p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>             恵庭市恵み野の中にある恵み野中央公園のフェンス沿いに 2009 年よりアナベルを植え始め現在は 600m になっています。恵み野中央公園は北海道恵庭市恵み野中央にある総面積 11 万㎡を超える総合公園で、公園は 3 エリアに分かれており、遊具がある冒険広場、多目的運動広場、公園中央部に位置する大きな池と水路、春には桜、秋には紅葉が楽しめる日本庭園もあります。           </p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>6月小中児童で植栽</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>7月アナベル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9月末アナベルの刈込</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>10月各家庭に飾られる</p> </div> </div>		
<b>計画のテーマでの位置づけ</b> (※3)	<p>         小中学校の子供たちによる植栽(6月)、絵画のような見事な花の開花(7～9月) 市民によるボリューム感ある花の「収穫」(9月末)、アナベルボールやブーケとして各商店や住宅へ装飾される景色(10月～)と、アナベルの花を使った人々のつながりやまちの景色を作り出しています。       </p>		



ふりがな <b>構成庭園の名称</b> (※1)	まちなか <sup>がーてん</sup> ガーデン	<b>構成庭園の所在地</b>	北海道恵庭市恵み野地区
4 <b>構成庭園の概要</b> (※2)	<p> <b>【開園面積】</b> 約 245ha (恵み野の総面積)  <b>【入園料金】</b> 無料  <b>【公開時期】</b> 6月～9月  <b>【施設管理者】</b> 恵み野花協、恵庭市 (道路管理者)  <b>【その他】</b> まちなかに付きルールを守る         </p> <p>           1979年に道内初の第三セクター方式によって開発されたニュータウン。現在人口約12000人。1995年より、東西南北の町内会、小中学校、恵み野商店会、駅、恵み野花づくり愛好会によって、花による連携団体として「美しい恵み野花の街づくり協議会(恵み野花協)」が設立(現在は15団体)。連携行事開催によって、花の街づくりが文化へと進んでいる。恵み野花協は1995年恵庭市に要望書を提出。その後恵庭市に花の部署「花と緑の課」が設立され「花のまちづくりプラン」によって花のまちづくりは進められ、恵庭市の基本計画に入る様になった。            恵庭市恵み野地区は、オープンガーデンの街と呼ばれている。1991年からガーデンコンテストを開催。ガーデニングは市民の楽しみとなっている。         </p> <p style="text-align: center;"> <b>恵み野はガーデニングの街と呼ばれています。</b> </p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;">        </div>		
<b>計画のテーマでの位置づけ</b> (※3)	<p>           市民がつくる花の実践箇所として、恵庭を象徴する庭を眺められる場所。このエリアの道をたどると、手入れがなされた美しい庭が目に飛び込んできます。恵庭のガーデンライフスタイルを実感できる特にすぐれたエリアです。            (コロナ感染症拡大を踏まえ、当面、個人宅の中へ入る形のオープンガーデンの箇所はガーデンツーリズムの箇所には含まれませんが、街並みとして十分に体感でき、作り手とはまちの緑化活動の中でご案内となります)            茂漁川の伏流水は恵み野中央公園に向かっています。清流の中で7月にはバイカモが咲きバイカモ目的に来られる人もいます。            市民が手掛けるアスリート花壇や空き地のボーダーガーデンも見ごたえあり。         </p>		

ふりがな <b>構成庭園の名称</b> (※1)	ぎんがていえん <b>銀河庭園</b> (えこりん村)	<b>構成庭園の所在地</b>	北海道恵庭市牧場
5 <b>構成庭園の概要</b> (※2)	<p> <b>【開園面積】</b> 約 10ha  <b>【入園料金】</b> 有料  <b>【公開時期】</b> 4月下旬～10月下旬  <b>【施設管理者】</b> 株式会社アレフ (びっくりドンキー系列)  <b>【その他】</b> </p> <p>           無農薬・有機栽培、再生エネルギー、資源循環を実行し、えこりん村(エコロジカル+輪)に創出した美しい庭園。10haの敷地に数多くのテーマを持ったガーデンとエリアを有し、花が多く、親しみやすいガーデンを展開。            チェルシーフラワーショーのゴールドメダリストである英国のバニー・ギネス氏が設計。世界的に有名なガーデナー吉谷桂子氏がガーデン&amp;プロダクトデザイナーとして携わっている。         </p>   <p style="text-align: center;">銀河庭園デザイナー バニー・ギネス</p>  <p style="text-align: center;">銀河庭園 ガーデンSV 吉谷桂子</p>		

## ◆銀河庭園(えこりん村)のパンフレット

The collage features several brochures and photos:

- 銀河庭園 (The Galaxy Village Garden):** A brochure describing the park's theme, featuring a water wheel and a cafe.
- 森のレストラン Ten-Man:** A brochure for a restaurant with a view of the forest, featuring a large tent structure.
- パスタと本格窯焼き らくだ軒:** A brochure for a cafe/pizzeria with a wood-fired oven, featuring a pizza being cooked.
- ガーデンテラス 花のまきば:** A brochure for a garden terrace with various flowers, featuring a large rose bush.
- みどりの牧場:** A brochure for a farm area with sheep and a tractor, featuring a sheep and a tractor.
- 見どころ (Seasonal views of Gardens):** A brochure showing various garden views, including a large field of yellow flowers and a garden with purple flowers.
- えこりん村 ウェルカムセンター:** A brochure for the welcome center, featuring a building and various products.

On the right side of the collage, there is a vertical banner for **えこりん村** (Ekorin Village) with the text **Eastern Village in the Hills** and a photo of sheep in a field.

計画  
のテ  
ーマ  
での  
位置  
づけ  
(※  
3)

銀河庭園のある、えこりん村はガーデンのテーマパークといえます。  
銀河庭園散策の他飲食、ショッピング、体験があることから、半日～一日いっぱい楽しめ、あらゆるニーズに対応できます。

世界的に認められたガーデナーの技術を間近に見て触れることができる場であり、恵庭の花のまちづくりの技術水準を継続的に磨くことに貢献。

伝統的なノウハウと新しいセンスを提供しつづけ、探訪型のツーリズムのクオリティを維持・高めていく。

ふりがな <b>構成庭園の名称</b> (※1)	ナーサリー <sup>にわ</sup> の庭 <b>サンガーデン</b>	<b>構成庭園の所在地</b>	北海道恵庭市西島松
6 <b>構成庭園の概要</b> (※2)	<p> <b>【開園面積】</b> 約1ha  <b>【入園料金】</b> 無料  <b>【公開時期】</b> 4月～11月  <b>【施設管理者】</b> (株) サンガーデン、恵庭市 (道路管理者)  <b>【その他】</b> 園芸売店、カフェ「ティーズガーデン」がある         </p> <p>           1964年創業サンガーデンは 北海道で最大の花苗生産量を誇る。創業者藤井哲夫氏は第一回花とくらし展実行委員長を務めるなど 花のまちづくりを牽引してきた。生産、造園緑花工事、売店、カフェを通して花のある暮らしを支えています。         </p> <p style="text-align: center;"> <b>ナーサリーの庭(サンガーデン)</b> </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<b>計画のテーマでの位置づけ</b> (※3)	<p>           花のまちづくりに欠かせない花の苗や材料供給と、専門家としての花の扱い方などの技術の伝授の役目を担っています。         </p> <p>           利用面では、恵庭の花のまちづくりの至るところで使われている花を使った体験、食事などができます。         </p>		

拠点機能（探訪部門のみ）

拠点機能の名称	美しい恵み野の街づくり推進協議会（恵み野花協）	拠点機能の所在地	北海道恵庭市恵み野地区
---------	-------------------------	----------	-------------

(活動期間)1996年～

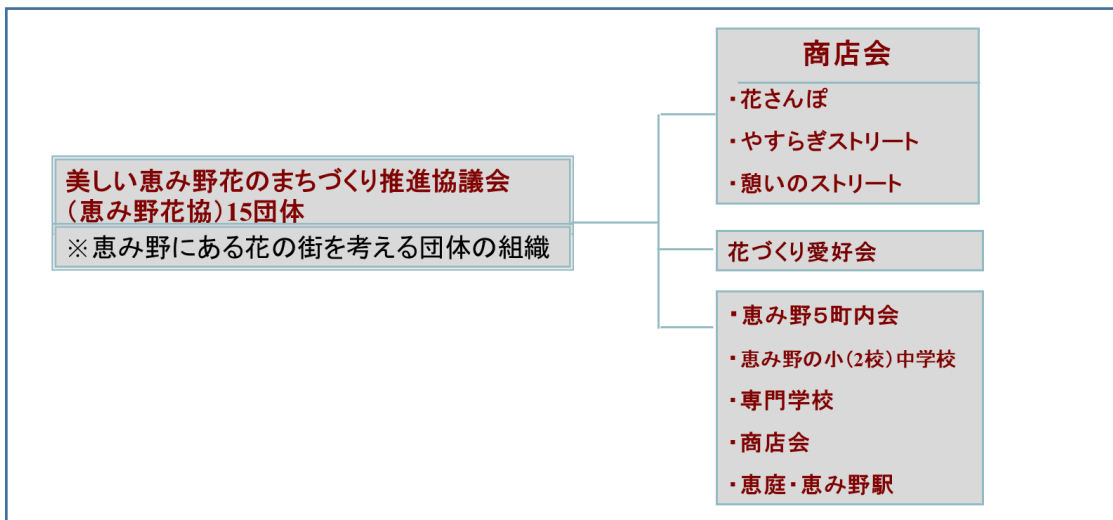
【その他】

恵み野にある花のまちづくりを実施する団体のハブ組織で、商店会、恵み野5町内会、小・中学校、専門学校、商店会、JR 駅など 15 団体からなる。

1996 年から継続的に活動を実施。実働部隊であり、かつ、技術水準を向上させ、持続可能な活動を行うための研修、ガーデンコンテストなどを実施している。

行政と市民の調整機能、花のまちづくり計画や総合計画などの市の計画策定への参画などを継続して担う。実績と継続して行う活動については以下の通り。

■組織図



拠点機能の概要  
(※ 2)

恵み野花協の活動は地域に広がっています(恵み野中千人植え)



事前の掘り起し作業はおやじの会



恵み野花協が花の提供と指導に当たる



先生も中学生も参加



恵み野花協は、公園や道路に日々緑化の活動を継続実施。

## 恵み野花協中央公園アジサイいっぱい運動 2009年開始



・2009年試験的に植える

・アジサイを増やす活動



中央公園に小中児童会でアナベルを植栽 ・アナベル収穫祭ブーケ作り

技術を向上・維持する**花の講習会**の開催、花と暮らし展への参加呼びかけ等を実施。

## 花づくり愛好会の活動

恵み野花協の実働部隊



花の講習会



花と暮らし展参加

千人植え花壇除草管理

まちなかの未利用地、空地はボーダーガーデンに変身させ、美しい場所へ変える。

## 空き地の ボーダーガーデン



個人が自主的に植栽管理している

市は市民の要望を聞き活動をサポート。市が市民とともにまちづくりの計画を策定。  
「花のまちづくりプラン」は、10年ごとに更新し、いまま未来も生きつづける。

1995年—美しい恵み野花づくり  
推進協議会（恵み野花協）は恵  
庭市に要望書を提出する。

↓  
恵庭市の各部長が意見を聞く場  
を作ってくれる

↓  
1997年恵庭市  
「花のまちづくりプラン」  
懇話会を開始

↓  
1998年恵庭市  
「恵庭花の街づくり推進会議」  
が出来る



花もよし、風もよし、人もよし、ここが恵庭

その他計画の実施にあたって必要な事項

※構成庭園以外で庭園間交流連携促進計画を構成する施設等について必要に応じて記載(様式自由)。

## オープンガーデンのまち恵庭

恵庭はオープンガーデンのまちといわれています。恵み野花づくり愛好会が1995年ころから花マップを作成。2001年から「ブレインズ種をまく私たち」が活動をはじめ、オープンガーデンオブ北海道が、発刊され19冊に上ります。2020年からはWebでの公開をしています。

目下、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、一部の庭では、いったん、オープンガーデンの活動を休止しておりますが、道のあるいて見える庭の花を楽しんでください。

わたしたちは、まちなかの花を育てる活動を続けています。



## 個人庭園



※ここ恵み野のオープンガーデンは、観光ガーデンではありません。マナーを守ってご覧ください。

- ・ここは個人の庭です、公の庭ではありません。
- ・外から見るのが基本です・不用意な批判は止めましょう。
- ・大きな声を出して歩くと住人の方の迷惑になります。
- ・「この花下さい」。種を勝手に持って行くことは止めましょう
- ・庭主さんはそれぞれ違いますので掲示物がある場合、指示に従って下さい。
- ・庭主の方は趣味で楽しんでいます。
- ・チャイムは鳴らさないでください。
- ・勝手に庭の中に入らないようにしましょう。





## 恵み野の庭



(1) これまでの取組

【めぐる旅の案内、ツアーの実施、交通手段等】

◆ 恵庭市花ガイドを創設（2004年～）

現在の市民花ガイドは行政視察のご案内をしています。有料ガイドを養成していきます。



◆ 恵み野バス巡りツアーの実施（2017年～2019年）

まちの庭をめぐるバスツアーでは、多くの参加者と市民ガーデナーの出会いがありました。

- ・ 20分間隔で循環バスを走らせる
- ・ 12か所のバス停を設ける
- ・ 乗り降り自由
- ・ スタンプラリーで景品が当たる

◆歩いてテクテクまち歩き

恵み野駅から恵み野商店街、恵み野ガーデンギャラリーを通過して住宅街を通りテクテク歩くと、1時間足らずで「はなふる」まで到着します。ゆっくりまち中を愉しんでください。

◆自転車でまちなかの花めぐり。

今まで、道の駅や恵み野駅で貸自転車の提供がありました。コロナ化でオープンガーデンが出来なくなったことにより既存の貸自転車は廃止。2021年5月より新たに恵庭駅、恵み野駅、「はなふる」の3か所で使用でき、3か所で乗り捨てすることが可能。

シェアサイクル「えにくる」の提供が開始しました。

まちなかの花めぐりには、気軽にゆったりと、小回りのきく自転車で。恵庭市内に設置したサイクルポート(自転車置き場)にある自転車を、どなたでも、好きなときに使えます。

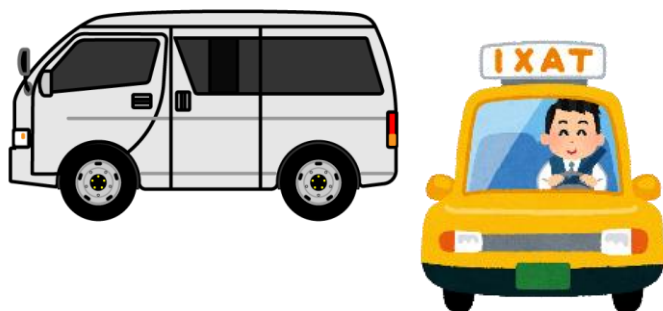


## (2) 今後の取組

### ◆ハイヤーを使ってゆったり花めぐり。

今までは徒歩と自転車だけの周遊だったが、ハイヤー移動が加わることで広範囲な花めぐり観光がスムーズに出来るようになる。

ハイヤーは小型からジャンボ(9人乗り)まで利用いただけます。(2022年～実施)



- ① 「恵庭まるごと花めぐり」プレミアムツアーの造成(案)
- ② 全国のガーデン市民ボランティアとの交流の機会創出(案)
- ③ 花のまちづくりを通じたまち全体の好循環の醸成(案)

(様式1-9)を参照

### (3) 協議会の構成員

#### 恵庭ガーデンツーリズム協議会

##### 構成員

恵み野商店会【ガーデンギャラリー、恵み野商店街】  
美しい恵み野街づくり推進協議会（恵み野花協）【アナベルロード&まちなかガーデン等】  
株式会社アレフ【銀河庭園（えこりん村）】  
恵庭市経済部 花と緑・観光課【恵庭市花のまちづくり、はなふる】  
株式会社サンガーデン【ナーサリーの庭】  
一般社団法人 恵庭観光協会【オープンガーデンマップ制作】  
富士交通(株)【観光タクシー】  
ガーデンアイランド北海道（GIH）

### (4) 事業の実施体制

#### 事務局メンバー

代表事務局	ガーデンアイランド北海道 (GIH)	内倉真裕美
事務局	美しい恵み野街づくり推進協議会（恵み野花協）	武藤光一
	恵み野商店会	落合信也
	株式会社アレフ	青木信二
	株式会社サンガーデン	土谷美紀
	一般社団法人 恵庭観光協会	沼倉健一
	恵庭市経済部 花と緑・観光課	竹内利樹

#### 実施体制（案）

**有料ガイド養成**：恵み野花協、一般社団法人 恵庭観光協会、  
恵庭市経済部 恵庭市経済部 花と緑・観光課

**各種ツアーの立案**：恵み野花協、GIH、恵庭観光協会、富士交通（株）

**各種ツアーの実施**：富士交通(株)、恵み野花協

**花苗の調達、ガーデニング指導**：（株）サンガーデン

**ガーデンマップの制作**：（株）恵庭観光協会、恵庭市経済部 花と緑・観光課

その他、計画、実施に当たっては、協議会構成員を中心に地域一体となって進めて行く。

### (5) 具体的な事業

様式 1-9 のとおり

## 具体的な事業一覧表

事業名①	「恵庭まるごと花めぐり」プレミアムツアーの造成（案）		
実施主体	富士交通(株) 恵み野花協	事業期間	2022 年度 ~ 2025 年度
実施施設	花の拠（はなふる）、銀河庭園、ガーデンギャラリー等		
事業概要	<p>民間旅行会社と連携し、ガーデンツーリズムの粋を体験できるプレミアムガイドツアーを実施。</p> <p>地元のガーデンナビゲーターに花のまちづくりの実践について案内を受け、世界的に認められた地元のガーデンデザイナー、ガーデナーに直接作庭の解説や技術の手ほどきを受けられます。</p> <p>まずは、都市緑化フェア期間中に、全国のガーデンツーリズム認定計画の担い手との交流を深めるツアーや、全国からの希望者を募ったツアーを実施。</p> <p>観光タクシーも併用で自由なコースが選べます。</p> <hr/> <p>花の周遊（例）<b>花マップをゲットしよう。</b></p> <p>半日コース（徒歩で） 恵み野駅から恵み野商店街、恵み野ガーデンギャラリーを通過して住宅街を通りテクテク歩くと、1時間足らずで「はなふる」まで到着します。ゆっくりまち中を愉しんでください。</p> <p>半日コース（ハイヤー利用） 恵庭駅からハイヤーで銀河庭園まで行き2時間ゆっくりガーデンとショップを見た後、ハイヤーでサンガーデンまで。1時間見た後「はなふる」でハイヤー下車、ゆっくり「はなふる」を見て道の駅で食事。</p> <p>1日目（徒歩又は自転車で） 花で彩られた恵み野駅のハンギングバスケット、コンテナガーデンをたどり市民ガイドの解説でガーデンギャラリー「花さんぽ」を見学とカフェで一休み。休憩した後は足を延ばして、まちなか散策するもよし。</p> <p>食事：恵み野の商店街内でランチ又はサンガーデンのカフェで地元食材を使ったランチも人気。</p> <p>ランチの後は、サンガーデンのナーサリーガーデンを見たり、元気な花苗や、グッズを見たり、体験プログラム（要予約）をするもよし。</p> <p>宿泊：「はなふる」に隣接する宿泊施設(フェアフィールド・バイ・マリオット北海道えにわ)に宿泊</p>		

2日目 花の拠点「はなふる」を早朝散歩して、午後はタクシー移動で銀河庭園へ

午前 「はなふる」で朝ヨガ  
7つのガーデンを、「はなふる」ガイドの解説でじっくりめぐる  
キッチンガーデンで料理レシピの伝授

午後 銀河庭園散策とえこりん村の施設で  
ロズビィのバラ畑で無農薬の食用ばらでお茶の時間。  
ランチはえこりん村内のレストラン。  
ギネスに輝いたトマトの森を見て花苗やグッズ、土産などショップで  
ゆっくり楽しめます。

※えこりん村では、まきばキャンプ場でアウトドア宿泊体験も可能。  
銀河庭園（えこりん村）から恵庭駅まではバスが利用できます。

体験型（例）各駅で花マップをゲットしよう。

・花のまちだから楽しめるツーリズムの形（学びと体験）

まる1日：（徒歩又は自転車）

午前：恵み野駅到着したら花で彩られた恵み野駅のハンギングバスケット  
や、まちなかのコンテナガーデンをたどり  
ガーデンギャラリー「花さんぽ」を見学。

ランチ：恵み野の商店街でランチやカフェを楽しむ。  
又は「はなふる」に移動してランチする。

午後：恵庭・恵み野の花のまちづくりの歴史を聞く学習会参加（要予約）  
てくてく花の街を散策  
又は「はなふる」でガーデン見学とショッピングを楽しむ。

まる1日：（観光タクシー併用）

午前 「はなふる」ガーデンで朝ヨガ  
「はなふる」ガーデン見学

ランチ：そのまま「はなふる」内で、又はサンガーデンに移動してティーズガ  
ーデンで地元野菜たっぷりの健康ランチ。

午後 、ナーサリーの庭サンガーデンで、種まき講習会やコンテナ作り体験が  
出来ます。（要予約）

まる1日：まるごと一日銀河庭園で楽しもう。

体験（銀河庭園散策—お食事—体験色々—苗も豊富—トマトの森、  
ショップで買い物）

・観光タクシーによるコース

タクシー（4人乗り）

ジャンボタクシー（9人乗り）

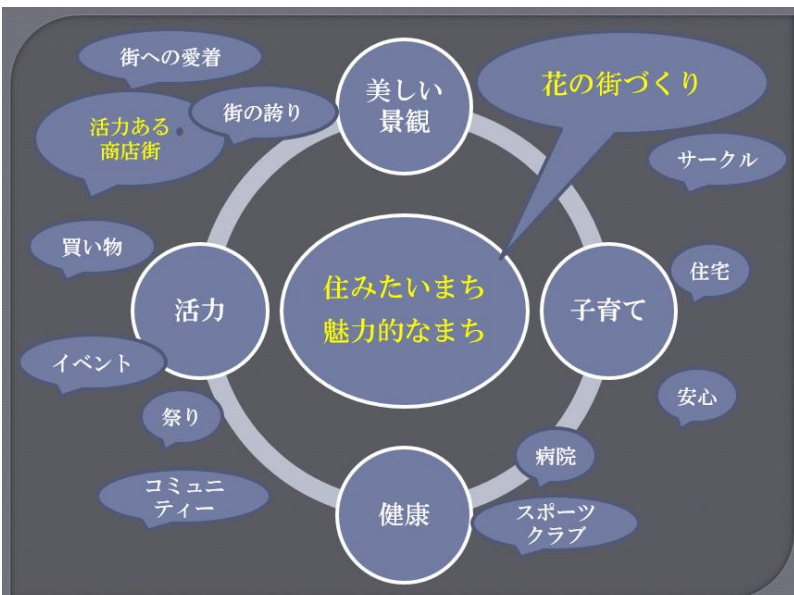
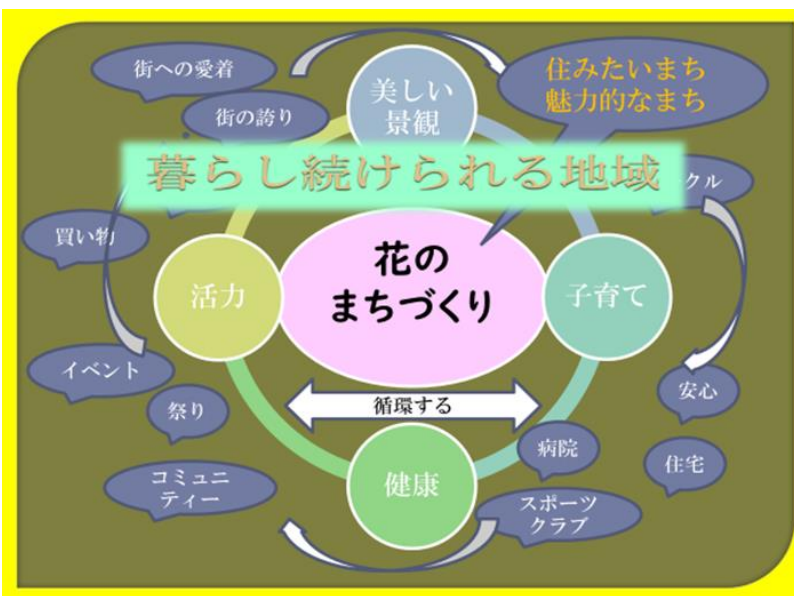
・半日コース例（恵庭駅—銀河庭園—ナーサリーガーデン—はなふる）

・一日コース例（はなふる—銀河庭園—ナーサリーガーデン—まちなかガーデン）

その他、コースは事前に相談することで、ニーズに合った提案ができます。

事業名②	全国のガーデン市民ボランティアとの交流の機会創出（案）		
実施主体	恵み野花協 恵庭市経済部 花と緑・観光課	事業期間	2022 年度 ~ 2025 年度
実施施設	花の拠点（はなふる）、恵み野中央公園アナベルロード		
事業概要	<p>恵庭の花のまちづくりは、今までも全国から視察に訪れる行政や市民団体が多い。恵庭や恵み野地区では市民が参加する花の収穫祭的なイベントがあります。そのイベントに参加することで、市民との交流が生まれます。</p> <hr/> <p>花のまちづくり交流会（例）</p> <p>恵庭の花のまちづくりを体験しながら交流しましょう。</p> <p>例① はなふるの花植え体験に参加してもらいガーデンの花で花束作り体験と花のまちづくりをして交流を図りましょう。</p> <p>例② 9月末—中央公園のアナベルロードの収穫祭に市民と共に参加し、アナベルでスワッグやアナベルボール作りを体験し交流を図りましょう。</p> <hr/> <p>※日程及び参加人数は、共に SNS 等でお知らせするので各自で申し込むスタイルになります。</p>		



事業名③	花のまちづくりを通じたまち全体の好循環の醸成（案）		
実施主体	恵み野花協 恵庭市経済部 花と緑・観光課	事業期間	2022 年度 ~ 2025 年度
実施施設	花の拠点（はなふる）、銀河庭園、ガーデンギャラリー等		
事業概要	 <p>The top diagram illustrates the concept of a '住みたいまち 魅力的なまち' (Desired City, Charismatic City) centered around four pillars: '美しい景観' (Beautiful Landscape), '子育て' (Child-rearing), '健康' (Health), and '活力' (Vitality). Each pillar is supported by various community elements like '街への愛着' (Love for the town), '街の誇り' (Pride in the town), '買い物' (Shopping), 'イベント' (Events), '祭り' (Festivals), 'コミュニティー' (Community), '病院' (Hospitals), 'スポーツクラブ' (Sports clubs), '住宅' (Housing), and '安心' (Peace of mind). A callout bubble labeled '花の街づくり' (Floral Town Building) points to the '美しい景観' pillar.</p>  <p>The bottom diagram shows '花のまちづくり' (Floral Town Building) as a '暮らし続けられる地域' (Sustainable Community). It features the same four pillars as the top diagram, but with a central focus on '花のまちづくり' and a '循環する' (Circulating) process connecting them. A callout bubble labeled '住みたいまち 魅力的なまち' points to the '美しい景観' pillar.</p> <p>恵庭市や恵み野は「住みたいまち、魅力的なまち」を「花のまちづくり」を進めることで、暮らし続けられる循環型の地域へと繋がった。今後もこの「花のまちづくり」を市民と共に育て、継続的な地域を目指したい。又、他地域の自治体や団体に向けても積極的に発信していきたい。</p>		